

高齢者施設の建築設計と補助金・交付金活用セミナー《沖縄》

平成24年度国交省・厚労省予算の解説から、10年間に60万戸整備を目標に全国各地で本格整備が進む「サービス付き高齢者向け住宅」を核とした高齢者複合施設の建築設計と補助金・交付金活用事例を解説指導！！

2012年度、国交省・厚労省の政策及び予算の方向と“先手必勝”の経営戦略！！

高齢者複合施設（サ高住＋介護施設）の建築設計と効果的な補助金・交付金活用の進め方

～「平成24年度高齢者等居住安定化モデル事業」・「第5期介護保険事業計画」のチャンスを生かしたサ高住・通所介護・訪問介護・小規模多機能・GH・小規模老健・特養・等の複合施設化の取り組み～

開催日 平成24年7月7日（土） PM 2:00～PM 5:00

会場 沖縄産業支援センター 沖縄県那覇市字小祿 1831 番地 1 TEL 098 (859) 6231

講師 保健・医療・福祉サービス研究会 医療福祉指導部 建築コンサルタント
コスモプラン株式会社 代表取締役（一級建築士） 水野 直樹 氏
日本建築家協会 JIA 登録建築家・日本医療福祉建築協会会員

参加料 HMS 会員 16,200 円（法人・個人会員）17,100 円（購読会員） 一般 18,000 円（資料・消費税含む）

<参加のお誘い>

平成24年度の国土交通省概算要求の中で、従前の「高齢者等居住安定化推進事業」については400億円（前年度比1.23倍）が要求され、**355億円の予算が付きました**。厚生労働省関連では、平成24年度は医療・介護ダブル改定及び地域包括ケアシステムの導入により施設から地域・在宅へのシフトが鮮明になります。セミナーでは、今後の事業展開・投資の失敗しない具体的な方法を示唆いたします。対象としては医療法人・社会福祉法人・介護事業者及び民間デベロッパー、建設会社等も広く参加をお勧めします。 水野 直樹

I. 本格的な超高齢社会に対応し、急増する高齢者住宅需要と今後の経営戦略

- 高齢者住宅・医療・介護政策に関する最新トピックス
- 平成23年度高齢者等居住安定化モデル事業実績と全国的な動向
- 平成24年度国交省・厚労省予算と2012年以降の高齢者住宅・介護事業戦略
- 「サ高住」と「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の事業モデル
- 「サ高住」・有料老人ホームの将来展望と今後の市場競争
- 「サ高住」事業化と補助金申請の実務と未届有料老人ホームに対する今後の規制
- 厚労省の強力な在院日数短縮政策とアウトリーチ・地域移行に伴う病床削減と高齢者住宅への転換策
- 2025年の超高齢社会対応に求められる医療・介護・不動産・建築コラボレーション

II. 事例に学ぶ高齢者複合施設の建築設計と補助金・交付金活用の具体策

—「サービス付き高齢者向け住宅・通所介護・訪問介護・小規模多機能+GH・サテライト老健等の複数の実例」—

- 「高齢者等居住安定化モデル事業補助金」の活用事例
- 「地域介護福祉空間整備事業交付金」と「緊急整備交付金」の活用事例
- スプリンクラーその他の補助金（交付金・助成金・その他）の活用事例
- 医療法人、社会福祉法人の多様な高齢者複合施設の事業モデル
- **市街化調整地区におけるサ高住建設**

III. 2025年に向けた地域包括ケアの実現と高齢者の住まい事業の将来

—質疑応答—